

開発途上国における新たな非電動式陰圧創傷治療システムの開発(コートジボワール)

ドクタージャパン株式会社商品企画部 荒殿 剛

クラス分類：クラスⅢ

(研究期間： 令和6年度～令和9年度)

研究目標

- アフリカ諸国で蔓延するブルーリ潰瘍などの重度な皮膚潰瘍疾患に対して、先進国で広く普及する治療法が開発途上国の不十分な医療環境下には対応していないため導入に至っていない。
- 洗浄・軟膏外用・包帯保護など対処療法が中心であり、新しい治療法のニーズがある。
- 新しい治療法として陰圧閉鎖療法に着目し、令和9年度までに現地の医療事情に合致する開発を行い、当該疾患の治療に貢献する。

研究成果

- 社会状況調査及びクリニカルイメージングで潰瘍のみならず外傷等の一般創傷からもニーズを抽出した。

今後の展望

- 令和7～8年度：バイオデザイン手法を用い、現場ニーズに即した創傷治療システムの要件仕様を定め、プロトタイプ之作製、ユーザビリティ評価を繰り返し開発を実施する。
- 令和8～9年度：機器の臨床評価を実施し、現地での薬事申請準備をする。令和10年度上市を計画している。

非電動式の陰圧創傷治療システムを開発し、効果的な創傷治療方法を確立する。

製品	駆動方式	重さ	吸引圧力	外来使用	ドレッシング材	価格
A社製品	電動式	×	大	×	専用	×
B社製品	非電動式	△	中	○	専用	△
開発品	非電動式	○	小	○	汎用	○

- 汎用化、低価格化、軽量化、簡素化を実現し、アフリカ現地でも持続的に治療が可能となる。
- 対象疾患は皮膚疾患をはじめ創傷に幅広く適用拡大を図る。